

## ■スターポイント点検基準表

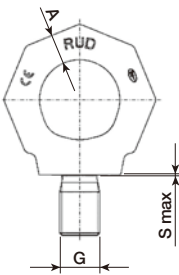
### A. 目視

下記項目に該当するものは使用を禁止してください。

- 変形、曲がり、傷、亀裂がある。
- 熱影響により黒色に変色したものの。
- ネジ部にカケが生じているもの。

### B. 測定

下図に示す部分の磨耗度合いを点検し、下表の数値に該当する場合は使用禁止。



型名	A (以下)	G (以下)	S max. (以上)
VRS-F-M6 / VRS-M6	7,7	5,7	0,7
VRS-F-M8 / VRS-M8	7,7	7,6	0,7
VRS-F-M10 / VRS-M10	7,7	9,6	0,7
VRS-F-M12 / VRS-M12	9,5	11,6	0,9
VRS-F-M14 / VRS-M14	9,5	13,5	0,9
VRS-F-M16 / VRS-M16	11,3	15,6	0,9
VRS-F-M18 / VRS-M18	11,3	17,5	0,9
VRS-F-M20 / VRS-M20	13,1	19,5	1,0
VRS-F-M22 / VRS-M22	13,1	21,3	1,0
VRS-F-M24 / VRS-M24	15,8	23,45	1,3
VRS-F-M27 / VRS-M27	15,8	26,2	1,3
VRS-F-M30 / VRS-M30	20,2	29,4	1,5
VRS-F-M33 / VRS-M33	20,2	32,1	1,5
VRS-F-M36 / VRS-M36	23,7	35,35	1,6
VRS-F-M42 / VRS-M42	28,2	41,3	1,8
VRS-F-M48 / VRS-M48	31,6	47,3	1,8

各種お問い合わせ先



本 社 〒550-0005 大阪市西区西本町2-5-28 コスモ西本町ビル 901号 TEL:06-6536-8807  
 東京営業所 〒135-0064 東京都江東区青海2-7-4 the SOHO 1132号 TEL:03-6457-1747  
 名古屋営業所 〒454-0867 名古屋市中川区広田町1-42 アクティブエリアK B号 TEL:052-304-8443

ホームページ <http://www.rud.co.jp/>

2018.09



リフティングポイントシリーズ



## スターポイント — 取扱説明書 —

### VRS



VRS-F (キー付) / VRS (キーなし)

( 安全にお使い戴くために  
本製品の使用期間中、本書は大切に保管して下さい。 )

製造国 : ドイツ  
 製造者 : RUD Ketten Rieger & Dietz GmbH u. Co. KG  
 本体材質 : ニッケルクロムモリブデン鋼  
 ボルト強度区分 : 10.9以上

このたびはRUD社製リフティングポイントシリーズを  
 お買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 この取扱説明書を熟読のうえ、正しく安全にご使用ください。

1. BGR500準拠のドイツ標準規格または他国の特定法令規制に従って基準作成してください。点検は、有資格者のみによる実施としてください。

2. 設置と毎使用前に、ルッド社製リフティングポイントへの目視点検を実施してください。その際、腐食、磨耗、溶接部のひび割れ、形状変化の形跡に特に注意を払ってください。ボルトのネジ山が、ネジ溝と合致することを確認してください。

3. リフティングポイントが設置される素材構成には、吊り上げ中に形状が変化しない十分な強度が要求されます。鋼鉄S235JR (1.0037)、あるいは鋳鉄GG 25 (0.6025 通気口無し) の場合、ボルト長は1.5xM (=L) としてください。

軽金属、非鉄重金属とネズミ鋳鉄を吊り上げる場合、それぞれの基材の要求に対応するネジ山の使用荷重などによって、ネジ山を選択してください。ドイツの代表的試験機関であるBGは、以下をボルト長の最小値として推奨しています:

アルミニウム合金: 2倍 × M  
 アルミニウム-マグネシウム合金: 2,5倍 × M  
 (M = ネジ山φ, 例: M 20)

4. リフティングポイントを吊り上げ対象物上に配置する際、吊り上げ中に移動しないように配置してください。

- 単点吊り上げの場合、リフティングポイントは吊り上げ対象物の重心上に配置して下さい。
- 二点吊り上げの場合、リフティングポイントは吊り上げ対象物の重心から等距離、あるいは重心上に配置して下さい。
- 三点、四点吊り上げの場合、可能であれば、同平面上の重心を中心に対称となるように配置してください。

### 5. 荷重対称性:

個々のルッド社製リフティングポイントの使用荷重は、対称荷重に基づき、以下の公式にて算出可能です

WLL = 使用荷重  
 G = 荷重 (kg)  
 n = 重量負荷点数  
 β = 垂直に対するチェーンの傾斜角度

$$WLL = \frac{G}{n \times \cos \beta}$$

荷重負荷点数と連動する荷重計算は以下の通り。

	対称	非対称
2点吊り上げ	2	1
3,4点吊り上げ	3	1

(表3を参照して下さい。)

6. 表面をボルト締めしている平面 (E) に関し、その平面度の保証が要求されます。ネジ穴の皿穴 = 基準ネジ穴径穴は、支える表面との互換性を確実にするために、十分な深さの確保が不可欠です。

7. スターポイントにはキー (タイプ: VRSF) が添付されています。これは工具を使用しない締め込みと、ボルトのネジ山とネジ溝の互換性点検に使用します。キーを六角形ソケットねじに差し込み、その後キーを抜き取ります (差し込み、抜き取りは手動で可能です)。キーを使用した締め込みの場合、手による締め付けが可能です。延長部分は使用しないでください。

長時間使用する際には、VRSを表1に示されるトルクにて固定してください (± 10%)。

8. 締め込みが完了し、キーが抜き取られた際、スターポイントが360度回転可能であることを確認してください。吊り上げ機器に取り付ける前に、引張り方向に合わせてください。

注意: スターポイントは荷重下で回転する使用には適していません!  
 反転作業にはパワーポイント等のベアリング製品をご使用ください。

